

平成30年2月2日
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題	飯南町新規就農者や研修生、就農希望者が農地取得を目指して！ 農業委員、農地利用最適化推進委員との意見交換会を開催
------------	---

(ダイジェスト)

飯南町認定新規就農者や農林業定住研修生等就農希望者と農業委員、農地利用最適化推進委員の意見交換会を開催しました。就農時における大きな課題である農地の取得についての情報交換や地域で農業を行う際のサポートなど濃密な意見交換でした。

1月26日(金)に飯南町役場において、認定新規就農者や農林業定住研修生、産業体験者、その他就農希望者と町内各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員の意見交換会を開催しました。生産者、関係機関あわせて39名が参加しました。



農業委員会事務局から、農業委員会の制度、業務内容について説明を行い、その後、新規就農者や研修生が自己紹介と経営上の悩み、農地取得希望について、農業委員や農地利用最適化推進委員からは遊休農地情報や農地貸借時の心構え等意見交換を行いました。

就農希望者の「借りた農地をいきなり返せと言われるのが心配」との不安に対し、委員は「きちんとした手続きで契約すれば、契約期間中は大丈夫。就農状況が問題なければ満了時に再契約となる。」と回答され、就農希望者も納得していました。

委員からは「農地は所有者だけでなく代々で守ってきた財産。借りると簡単に言うが、貸していただけることに感謝しなくてはならない。反対に出し手側も若い方が就農という道を選んで地域を守ってくれるということに感謝し応援する必要がある。」と地域の就農者、就農希望者に期待し応援する雰囲気を受け取れました。

今回の意見交換会を契機に月1回の農業委員会総会の際に就農者や研修生の状況を情報提供することとなりました。

新たな就農候補地情報も出て、研修生とのマッチングを早急に進めていく事案も発生しました。飯南町就農支援チーム、農業委員会事務局双方とも、毎年1回はこのような情報交換会を行い、就農希望者への農地マッチングや地域農業に溶け込みやすい環境作りを行うことが重要と共通認識を得ました。

